

10.11.12/No.2

2010.第72号

平成22年11月1日発行

ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区誌

We Serve

The International Association  
of Lions Clubs



瀬戸



瀬戸の御来光



# 地区ガバナー公式訪問を終えて

地区ガバナー 宇高 昭造



7月25日のキャビネット会議で今年度の地区運営方針をご承知いただき、8月7日に先ずは四国中央キャビネットの地元2リジョンから、ガバナー公式訪問を始めました。

ゾーン単位の訪問は昨年度と同様でしたが、1日に3ゾーンを訪問する事を避け、クラブ役員の皆様とより親密に、より集中して懇談できるよう、一部を除き1日に2ゾーンに限定して訪問を計画しました。また、四国の中央と言うキャビネットの立地は交通費の面で有利であり、その良さを活かして全地区委員長に参加して頂いて、各クラブの役員、リジョンの地区役員とキャビネット役員の幅広い交流を図りました。

ゆったりした訪問計画であったため、総日数は15日を要し、最後に訪問した5リジョンは10月3日となりました。四半期を費やす訪問となりましたが、その分、自身の濃い交流が出来たと思っております。また、クラブ例会相互訪問を主たる地区運営方針の一つに掲げましたが、その意味でも多くのキャビネット役員がクラブ役員やリジョン役員と直接交流、交感する良い機会になったと考えています。地区の活性化はビジネスと同様に先ずは人が交わることから始まると思っておりますが、その効果はあったと考えます。

私は会長各位がクラブに伝達し易いようレジュメを携え、国際会長のテーマ「希望の光」を語り、公式訪問の意義と私のスローガン、キーワードについて話させて頂きました。





## Contents

<b>表紙2</b>	336-A地区ガバナー 公式訪問
2	各リジョン ガバナー公式訪問
11	YE事業報告 サマーキャンプ
18	ライオンズクエスト ワークショップ
22	地区IT委員会よりお知らせ
24	LCIFセミナー
25	アクティビティ
27	例会訪問
32	336-A地区会員現況
<b>表紙3</b>	物故会員／編集後記

表紙題字／書家 栗月  
表紙写真／高橋 毅(日本写真家協会会員) 瀬戸の舞楽元

拙い話を熱心に聴いて下さった皆様に心から感謝いたして  
おります。

いずれのゾーンでもよく準備を整えられ、大変な歓迎で私  
たちをお迎え下さいました。そして各クラブ会長はこの経済  
の停滞感の中にあつて、厳しいながらも希望と、熱い思いを  
語って下さいました。さすがにこの時期に会長に選ばれた  
方々であると感服致しました。

私たちは訪問のバスの車中で、入れ替り立ち代りスピーチ  
をしながら参りましたが、地区運営に思いを馳せ、キャピネ  
ット役員の交歓をしながら、充実した楽しい道中でした。

この公式訪問が皆様のクラブのお役に立つよう、これから  
も全てのクラブと交流し続けて行く所存です。気軽に声を掛  
け合い、楽しいクラブライフを築き続けましょう。

## 2010・2011 ガバナー公式訪問

## 笑顔を絶やさないガバナー

2Rガバナー公式訪問

8月7日(土) ホテルユニバース(西条市)  
8月8日(日) ホテルユニバース(西条市)

2010と2011年度 地区ガバナー公式訪問が30度を越す8月7日と8日の2日間ホテルユニバース(西条市)で今年度最初の日程で始まった。

今年度の地区ガバナー 宇高昭造氏(川之江LC)を先頭に、第一副地区ガバナー 菅武蔵氏(松山湯築LC) キヤピネット幹事 藤原久氏・キヤピネット会計 尾藤稔氏が一礼をし

て地区役員・地区委員・2R-2Z、5クラブ会長・第一副会長・幹事・会計・会員委員長が待つ会場に拍手で迎えられて入場されました。白石浩二氏(今治東LC)の司会で2R-ZC村瀬牧男氏が開会宣言及び開会ゴングを打ち、地区ガバナー公式訪問がスタートを切りました。宇高昭造地区ガバナーが挨拶、開口一番、初めての公式訪問です。試運転です。ブ

レーキを掛けながら、安全運転で回ります。ガバナー公式訪問の資料をお配りしています。国際協会の会員はクラブである、世界743地区、世界46,168クラブ、206各国、領域1,338万人余りの会員、私はこの地区では責任者です。

私は国際会長のメッセージを皆様へ伝えるのが今日の私の役目です。

「国際会長」シド・L・スクラッグス

Ⅲ テーマ「希望の光」336-A 地区ガバナー「宇高昭造氏ガバナー」 スローガン「明るく、やさしく、心をこめて WE SERVE」 ガバナー・キーワード「希望」楽しい例会 その他資料プリント(地区運営方針の要約)ライオンズ・メンタープログラム、続いて、要望事項並びに質疑応答があり、各委員長からの要望、各クラブ会長の今年度の目標と抱負、2時間が少しオーバーする程でした。続いて、2R-4Z、西条市4クラブの地区ガバナー公式訪問がホスト東予ライオンズクラブで行われました。こうして、翌日8日も2R-1Z、新居浜市4クラブ・2R-3Z、四国中央市5クラブの地区ガバナー公式訪問が2日間で終わりました。

(地区誌編集委員 田尾忠士)







## 楽しいクラブ楽しい例会を

### 3Rガバナー公式訪問

8月21日(土) 3Z  
8月22日(日) 1Z・2Z  
クアライフ宇和島クアホテル  
センチュリーホテルイトー

8月21日 3R公式訪問へ向けて、KS会館9時40分出発。地元2R以外では初めての訪問という事でスタッフはやや緊張気味。途中でメンバーを拾いながら最終石鏡SAを10時20分に出発。高速道路が松山を過ぎ試験中の無料区間に入った途端、車の量が増えスピードが落ちる。何とかぎりぎり到着し急いで食事を終え会場に入る。南国風の佇まいで少し暑い風流な感じであった。13時より中田3R-3ZCの開会ゴングでいよいよ公式訪問がスタートになった。宇高ガバナーより「国際会長シドラスクラッグス三世のテーマ「希望の光」、ガバナースローガン「明るく、やさしく、心をこめて。ウイザー」について分かり易く丁寧に説明された。各クラブとも楽しいクラブ、楽しい例会を目指し、献血、清掃等のライオンズの奉仕の基本に根ざした活動を展開されている。ガバナー方針の中で、他クラブ訪問という事についても熱心に討議され、西園寺元



ガバナーもわかりやすく宇高ガバナーの真意を述べられた。又仲間どうしの意識の問題とかクラブ必携の活用とか継続事業の見直しとか具体的な話し合いもされた。引き続き懇親会に入ったがお互い打ち解けて楽しい思い出づくりとなった。

遠方という事で、この日はそのままクアホテル泊りとなった。明けて

8月22日(日)1Z、2Zの公式訪問へと出発。初めての泊りであったがキャビネットのメンバー全員すこぶる元気であった。12時間30分より大気3R-1ZCの開会ゴングと歓迎の挨拶。昨日に続いての宇高ガバナーより挨拶と報告がなされ各委員長の要望事項を終えて質疑応答へと移った。各クラブとも、ガバナーの基本方針に基づいて計画を練られていた。基本的な活動に重点を置かれていた。例会、会員増強に力を注がれていた。ゴミゼロ運動や植樹した桜並木の下草刈り、老人クロッケー大会、ライオンの森花壇整備活動、少人数故のバザー等財政に見合った活動等の報告がされた。続いて14:50より2Zの公式訪問へと移り田中3R-2ZCの開会ゴングと歓迎の挨拶。1Zと



同様に会が進行し質疑応答、各クラブの会長より今年度の目標と抱負が発表された。1Z、3Zの各クラブと同様、会員増強につながるような楽しい例会運営に重点を置かれていた。国道沿いの花の手入れ、音楽祭、伊方大川や五反田川の清掃活動、長年続けられてきた桜並木の整備等地に足の着いた活動を展開されている。18:10より懇親会に入り、一日の疲れが癒されるような楽しい会になった。3Rにはユニークな経歴をもつ方や発想の豊かな会長もおられ大変興味深いリジョンであった。19:10にお開きとなりバスで一路帰宅の途にいった。

(地区誌編集委員長 谷井 登)

## 地域に密着した事業を

9Rガバナー公式訪問

8月28日(土)

阿波観光ホテル

猛暑の中、初めて参加するガバナー公式訪問。少々緊張気味で席に着きました。

徳島の地域性もあるのか、和気あいあいとした公式訪問であったと思う。各クラブの事業を見てみると、派手さはないが、長い間コツコツと積み上げてきた努力の跡が感じられる事業が多いように感じました。また、少人数のクラブも多く、運営に苦労されている中で、多くの地域に密着した事業展開されていることに、感心する次第です。特に、徳島には阿波踊りという県下共通のシンボリックなお祭りがあり、阿波踊りを対象とした事業・例会が多いのもこのリジョンの特徴であると思う。地域のお祭りとタイアップした事業を展開するのも、地域とのコミュニケーションを図るという観点からおもしろいと思う。お祭り好きの私にとって、阿波踊り例会は興味津々であった。

ただ、このリジョンは都市部のクラブと山間部のクラブとでは、立地

条件にかなりの隔たりがあり、特に山間部のクラブではクラブ自体のエリアが広く運営にかなり苦労している様子である。そんな中でも、地域のために努力されている姿は感動ものである。

会議では、みなさんの話を聞くだけの立場であったが、終了後の懇親会では各クラブの方から直接話をすることができ、自分のクラブしか知らなかった私にとって、各クラブの熱き思いに触れ、非常に新鮮な会議となった。

(地区誌編集副委員長 石川尚史)







猛暑が続く中、昨日に引き続き8  
リジョンの公式訪問が開催された。  
宇高ガバナーからの説明の後、各ク  
ラブからの報告。8リジョンも和気  
あいあいとした雰囲気では進行  
していく。もちろん、各クラブの会長  
の話は外の猛暑に負けないくらい熱  
いものであった。このリジョンも長  
年にわたり培ってきた事業が多いの



に感心させられる。バレーボール・柔  
道等スポーツを通じた青少年育成事  
業、公園・河川等の清掃活動、老人福  
祉施設への慰問活動、交通安全活動  
等々地域に密着した活動を続けてい  
る。特に、河川清掃では、吉野川の清  
掃が目につく。徳島の人にとっては、  
母なる川なのだろう。阿波踊りとい  
い、吉野川といい県全体のシンボル  
が存在するは、うらやましい限りで  
ある。

ただ、会員の維持にはかなり苦勞  
されている模様であるが、5名増強  
という高い目標をかけているクラブ  
も多数あり、頼もしい限りである。や  
はり活動するには仲間が多い方がい  
い。そのためには、まず個々が活動に  
誇りを持つことではないかと思う。  
そのためにも、まず自分が一歩踏み  
出す勇気を持つべきだろう。チャレ  
ンジあるのみ。そんなことを自分の  
心に強く刻み込んだ公式訪問であつ  
た。

(地区誌編集委員 石川尚史)

## 母なる川 吉野川

8月ガバナー公式訪問  
8月29日(日)

サンシャイン徳島アネックス



## 4Rの国へようこそ

4Rガバナー公式訪問

9月4日(土) 1Z・2Z 高松国際ホテル  
9月5日(日) 3Z・4Z 高松国際ホテル



快晴とはいえ残暑の厳しい中、宇高ガバナーを筆頭にキャピネットメンバー揃ってバスで高松国際ホテルへ向かう。車中、より身近にガバナーの見識と人柄に接せられたのは収穫。会場は風格凛々以外に広い。宇高ガバナー入場で1Z(5クラブ)の公式訪問開始。松岡4R RCは、うどんの国へようこそ、から始まり、4Rの活動の現状と公式訪問への4Rの高い参加率(96パーセント)をぜひお土産にしたい、とユーモアと情熱を交えた歓迎挨拶をされた。

開けば、10歳は若く見えるお年でしかも例会出席連続千回以上という、まさにライオンの輝のような方。宇高ガバナーの所信挨拶は、まず公式訪問とは何か?というその目的の説明に始ま

り、ガバナー・スローガンの意図するところ、そしてガバナー・キーワード「希望」についてはシド・L・スクラッグス国際会長のパイロット時代の経験を踏まえた説明をされた。宇高ガバナーは冒頭、私は口下手で、といわれるが、その語りは、理路整然、なにより相手に対する温かい思いやりがあり、無理強いしない説得力を感じた。ついでながら、ガバナーが、実はこの会場でわたしは結婚式を挙げました、不思議な縁を感じています、と話された時は会場全体が一挙に和やかな雰囲気であふれた。

各地区委員長からの要望もガバナーの運営基本方針をしっかりと踏まえたもので参加各クラブ関係者へ充分伝わったと思う。中でも、昨年の9月から練られていたというLCIFセミナーの開催、例会訪問を今期ガバナーの特別アワードにしたいという意見は新鮮だった。

も地道に継続されているものに関心を持たれ、いい事業内容だけにPRとネットミミグが大切なのはと助言された。小休止後、2Z(6クラブ)への公式訪問、ガバナーの質問は1Zの時と同様、地味でありながら相当の忍耐を要する事業にスポットを当てられていた。学童園児さつま芋植え付け(源平農園)四国8・8クイーンバレーボールチーム支援など。また、ホテルの放流は環境的にかなりハードルが高いように思えたが、ガバナーは、地域のひとと一緒に粘り強く取り組むことに意味がありますねと温かい目線でエールを送られた。

翌9月5日(日)は、3Z、4Zの公式訪問が前日と同じ会場高松国際ホテルで開催された。13時より3Z(5クラブ)の公式訪問が始まり、前日に引き続き高松の松岡RCが元氣よく挨拶された。ガバナーの挨拶、質疑応答へと移っていった。LCIF事業やコスモス栽培に力を注がれているクラブやガバナー方針に基づいた事業が展開されている中で、アジアへ教員の手をといていう事で、フィリピンに学校やトレーニングセンターを寄贈するという大きな事業(他クラブにも参加要請中)に取組んでおられるクラブもあった。この事業は是非次号で詳しく取り上げてみたいものである。

続いて15:20より4Z(6クラブ)の公式訪問へと移る。ドロップ防止、出席率の向上(楽しい例会)、献血等継続性のある地道な事業に力を入れられていた。会長スローガンがユニークなクラブが多く目を引き付けられ、全員で奉仕活動をやつていこうという気概を感じた。

いずれにしても、今期、宇高ガバナーの基本方針が訪問先リジョン内のクラブによく理解され、全体的には衰微の傾向にあるライオンズクラブの中で個々の地域に即した事業を工夫し懸命に頑張ろうとしているクラブ会長さんの真摯な姿勢が伝わった。

人と人のふれあいが「希望」の要諦であるからこそ、キャピネット関係者の多くがガバナー公式訪問に同行した意味は大きいと思う。キャピネット幹事の縁の下力に感謝を受け、それぞれの地区役員の方が要望にこめられた思いを身近に聞くにつけ、結果的にこれほど集中して生きたライオンズを再学習できたことはありがたかった。23クラブの例会訪問を一気に消化したかのような高揚した気分になり、心地よい疲労感を抱きキャピネットメンバーの方がたとバスに揺られ予想外に早く帰途に着いた。

(地区誌編集委員 堀出 途)



## 奉仕活動を通じて人生を高めよう

### 6Rガバナー公式訪問

9月11日(土) 3Z 中村商工会館  
9月12日(日) 1Z・2Z グランドティール



9月に入ってもまだまだ暑い、11日の朝、四国中央市より、バスを走らすこと約3時間30分の長い道のりでしたが、宇高ガバナーをはじめとしたキャビネットメンバーの心と話を聞きながら、時間を感じさせることなくバスは目的地の中村市新ロイヤルホテル四万十に到着。やはり、日本最後の溪流四万十を持つ観光地にふさわしく、すばらしいホテルだ。全

員チェックインをした後、徒歩にて本日の6R3Z公式訪問会場の中村商工会館へ。

会場には6リジョンの金子RCをはじめ、六クラブの会長他メンバーの面々がすでに着座されていました。程なく参加者の拍手に迎えられて、宇高ガバナーの入場。

森近ZCよりメンバー数の少ないクラブが多いゾーンだと言う説明があったが、四万十、土佐清水、宿毛、窪川、大方、大正各会長からの報告の後のフリートークなど、活発な意見交換がなされ、数をパワーで補うに足る内容でした。特に四万十の英語弁論大会とか宿毛のレオとの合同活動ユニークな事業の発表があった。

全体会の最後にはガバナーより「互いに楽しく奉仕活動を通じて人生を高めて生きましょう。」という言葉の後、3Zの公式訪問を閉じた。

翌日、12日は朝よりバスを走らせ、午後よりの1Z、2Zの公式訪問地である土佐市に向かった。会場のグ

ランドティールには正午前の到着、午後1時より6R1Zの公式訪問が開会された。1ゾーン細木ZCより直接の学びをこれからの活動に役立てたいと言った歓迎の挨拶の後、宇高ガバナーからは「国際会長のメッセージを伝えることがガバナーの役目、迷える人、困った人を導く、実施参加型の行動を取れるように明るく優しい心を込めて行動」という言葉が贈られた。1ゾーンは女性クラブの高知桜とときみずきがあるが、やはりメンバー減少の中、会員数の少ないことを利点に変えて活動を続けたいとの発表があった。また、高知LCも先日の宿毛LCと同様にレオクラブとの交流が活発であり、キャビネットもこの事業には協力していくとの説明があった。

続いて、同じ会場にて、6R2Zの公式訪問が開会された。2ゾーン近藤ZCよりガバナーの紹介と本日の成果への期待を話された。次に宇高ガバナーからは国際会長の思いを伝える中、ライオンズの奉仕作業を基にこれからのライオンズの展開を活発にしていく、そして、学ぶ、汗かくを实践出来るライオンズクラブを作っていきたいと思います、という話に続いて、四国中央市が土佐紙を通して、お

互いの競争の歴史と交流の深さを説明された。

このゾーンでは花を通じての事業が活発らしく、須崎LCでは道の駅周辺での芝桜を広げようといった展開の他、土佐LCでは小学校への花植え事業、中土佐LCは桜並木の改修再生に取り組みされているようだ。その後フリートークでは海岸の一斉清掃とか、独居老人への励ましハガキを小学生にお願いしてもらおうなど活発な意見が交わされた。そして、夢を多くの人と共有していきたい、盛んな活動をつなげていこう、という総意を持って5時15分に6R2Zのガバナー公式訪問を閉じた。

（地区誌編集委員 受川真二）



## 地域に根ざしたいびっそう

7日ガバナー公式訪問

9月18日(土)

9月19日(日)

高知プリンスホテル・グレース浜すし

高知プリンスホテル・グレース浜すし

彼岸も近いというのに、まだまだ続く猛暑の中行われた7Rガバナー公式訪問。しかし、その猛暑をもぶっ飛ばす熱気を感じたのは私だけではなかったと思う。

また、70名近い会員数のクラブから9名という少数クラブまで様々であるが、どのクラブもそれぞれの地域に溶け込み、地域に根ざした活動をされている様子が会長の熱い語りから強く感じられた。

特に、5年・10年と地道に続けられている活動が多く、青少年育成事業・障がい者支援事業が多いのも印象に残った。なかでも、地域住民と小学生とのコミュニケーションを図る「地域花いっぱい8030(はちまるさんまる)事業」、「子供の家」の子供たちと鏡川源流周辺清掃とパーベキュー、小児がんと闘う子供たちが集い交流するサマーキャンプ支援等々心を打つ事業が多かった。

ガバナーの話の中に、「私たちがライオンになるのは、入会したときで

も、会費を納入した時でもない、自分が他の人のためになったと、実感した時である。」という部分がありました。そのためにも7Rのように地に足の着いた活動を地道にやること、が大切なのではないでしょうか。自分にとっても非常に刺激を受けた公式訪問であった。

最後に、女性会長の勢いに驚き、その熱く語る口調は、まさに坂本龍馬。頼もしい限りである。

(地区誌編集副委員長 石川尚史)





# 四国のライオンズクラブ始まりの地で

1Rガバナー公式訪問

9月25日(土) 2Z・3Z いよてつ会館 3F ロバン  
 9月26日(日) 1Z いよてつ会館 3F ロバン



秋の気配を感じながら、国道317号線を走行距離14万キロの愛車マークで松山まで走る。1時間後、会場の3Fに上がると電車の向こうに過つては若者で賑わっていたビルが見える。電車の音が建

物に響くが何故か喧騒には遠い感じがする。会場はやや手狭で、キャビネット関係者の後席の出入りはかなり窮屈な感じがした。

9時から1Zの公式訪問、各ゾーンでは出席者全員起立拍手の中、2C先導で宇高ガバナー入場、2Zでは松山徳業LC竹下会長、3Zでは東瀬LC徳本会長1Zでは久方LC土井会長が司会進行を務める。高岡2ZCの歓迎挨拶はソフトな語り口ながら公式訪問を迎える1Rの熱い思いを伝えていた。

宇高ガバナーはキーワード「希望」を336-A地区の基本方針とする説明に加

えてガバナースローガンの「明るく、やさしく、心をこめて WE SERVICE」の中

で、やさしく、の意味を、先輩ライオンからの貴重な教えを難しく考えないで奉仕に生かすということだと語られた。宮内地区名誉顧問は激励の挨拶でユーモアを織り込んだ形で宇高ガバナーのガバナー方針やガバナーの人柄を称えられた。ガバナー挨拶の中では1Rこそが四国のライオンズクラブの始まりであるという沿革にふれ、1Rの力強いパワーで336-A地区を牽引していくて欲しい、と強調された。曾第一副地区ガバナーはその任務を、往年の名誉優長谷川一夫にこよせた語りだしの挨拶で長谷川第二副地区ガバナーは例会訪問の重要性を訴えられた。宇高ガバナーからは紙の町川之江にちなんで作られたバナーを公式訪問の記念品として各クラブ会長に贈呈、各地区委員長からはそれぞれに熱心な要望が出されたが、中でも、HPをもっていないクラブはぜひHPを立ち上げて欲しいとの要望は、当然ながら時代の流に沿うものであり、ライオンズクラブの基本的弱点ともいえるPRに欠かさないツールになるだろう。

各クラブ会長の今年度の抱負はガバナースローガンの基本方針に則したものが中心だったが、資金獲得事業では同年事業のひとつに位置づけた取り組み方で相当な額の資金獲得を目指すクラブ、会員増強ではすでにこの時期二桁の増強で会員数100名を越えたという余裕たっぷりのクラブ、また、今期の退会届は受け付けないと豪快に言い切る会長もいて、さすがは1Rと宇高ガバナーも感服の尻、一方でクラブ創設30年以上も少年少女合唱団の育成、助成の継続、中学生ソフトテニス大会も24回目を迎えるなど息の長い継続事業を続けるクラブ、準絶滅危機種のオムラサキ、ホタルの繁殖支援の環境保全活動や市内3施設の子ども達との交流をはかる一日里親事業に取り組むクラブ、そして、松山ホストLCの贈がいに共にキャ

ンブなど、今年度の地区運営方針の一つである「贈がいに宛と家族奉仕」に沿った活動を既に数年前からされているクラブ、改めて奉仕事業の幅と奥深さを感じた。

宇高ガバナーは個々のクラブがそれぞれの特徴を生かした事業を続けていることを高く評価するとともに事業のネーミング次第でアピール度がさらに高くなるであろうこと、また地域を巻き込んで一緒に育てていく必要性を話された。そして名誉顧問や第一、第二副地区ガバナー、それぞれの方に会議の話題に加わってもらった感じできお話しかけられていたのは印象的だった。

伝統あるクラブにはメンタープログラムがちゃんと機能しているからこそその優れた継続事業があり、会員数が少ないクラブではクラブの結束力が固く地域により密着した事業がなされていること、いずれにしても、奉仕事業は人と人の出会い、そしてより人間的な行為から始めることが感動的な成果を生むものと納得した。まして、奉仕を主眼とするライオンズクラブの場で出会う人と人のふれあいは双方の人生に貴重な意味を持つことになるだろうことを確信する。

一部のクラブを除き大多数のクラブが会員減少に悩んでいる現状を考えると、ライオンズクラブもその将来は決して明るいものとはいえないが、個人的には今回の公式訪問に同行したことで、ガバナーの指針というべき「希望」を体感できたことは実に有意義だった。

この体感には自分だけではなく公式訪問の参加者のより多くのライオンと共有していることを信じている。

懇親会は25名、いよてつ会館 2F 北京で、中華料理の食べ、飲み放題に近い和気藹々の場、宇高ガバナー、宮内名誉顧問のツーショットを撮る。残念ながら所用のため途中で退席。

26日の昼食は、笑顔の宇高ガバナーの横で頂いたお弁当、一つ役目を終えた安堵感からか、えびす南京の山吹色が目に鮮やかだった。

(地区誌編集委員 黒田周子)





## 仲間づくりを

5Rガバナー公式訪問

10月3日(日)

ホテルセントカテリーナ宇多津

平成22年10月3日、本日がいよいよ公式訪問最後の日である。あいにく出発前より雨に降られる。「今日一日こんな天気じゃなあ」というメンバーの声に「もうすぐ上りますよ」とガバナー強気の発言。途中、大平正芳元総理の生誕100年を記念してお茶会が栗林公園であり、宇高ガバナーが招待されていた関係で全員で出席。雨にもかかわらず大勢の出席者に驚く。昼食を済ませ最後の地5R、会場のホテルセントカテリーナ宇多津へと出発。最終日という事もあり、バスの中はくつろいだ雰囲気であった。雨もガバナーの言う通りいつの間にか上がり、開会よりかなり前に到着。大変ゆつたりとしたすばらしい会場であった。

5Rは1Z7クラブ、2Z6クラブを1日で挙行のスケジュールであった。14時ジャストに会場1ZCの司会が始まった。出席者紹介のあと例によって池内5R、RCの大きな力強い挨拶に会場は一つになった。



宇高ガバナー、長谷川第2副地区ガバナーも最後の挨拶を丁寧になされ、質疑応答へと移った。

YE事業で費用的に厳しく単独でなく共同事業と考えられているクラブがあれば、100万円の予算を構成し、5YE生5名を受け入れるクラブ、またアクティビティではカヌー競技や野鳥の会そして読書感想文を取り

入れたユニークな事業もあった。初めて今年平和ボスターに参加されるクラブや広報誌を初めて出すクラブもあれば、年24回会報誌を出すクラブもあり、又会員構成で10名の市の職員(議員、教育委員)が入会されているクラブもあったが、全般的に事業内容をお聞きしていると、336-A地区内でもハイレベルなリジョンでなかろうかと思われる。

記念撮影のあと懇親会に移ったが、訪問する例も最後、受ける例も公式訪問が終わったという事で心からリラックスし、大変なごやかで楽しい懇親会となった。このようなすばらしい公式訪問をホストクラブとして準備していただいた丸亀京極ライオンズクラブの皆様ありがとうございました。余韻を残したまま全員バスで帰路に。宇高ガバナーをはじめスタッフの皆さん長期間お疲れ様でした。

(地区誌編集委員長 谷井 登)



## 2010・2011 YEサマーキャンプ

## 2010～2011年度 夏期YE事業



Y.E.国際関係委員会  
地区委員長 伊東 義章

平成22年7月21日～24日の3泊4日の日程にてマリンパーク新居浜におきまして336-A、B地区合同開催にて6カ国13名のYE生が参加してサマーキャンプを開催いたしました。

当日はキャンプ開村式を時刻16:00よりA地区より石川新居浜副市長、宇高地区ガバナ―、はじめ25名が参加、またB地区からは釜田キャピネット幹事はじめ13名、2R・1Zの4クラブ関係者も含め総勢45名の参加を頂き盛大に開村式を挙行政じました。

引き続き18:00よりウェルカムパーティーを開催し打ち上げ花火、ゲームなど食事をしながらの楽しい一時を過ごし子供達も各国のYE生との初めての交流を通じて親睦を計り四日間のプログラムに望みました。

翌22日は早朝より新居浜の禅寺の瑞応寺に大型バスにてスタッフも含め30名にて移動し般若心経を本堂にて唱え、その後、座禅、精進料理と作法を僧侶に教えて頂き、お勉強を致しました。

慣れない座禅には悪戦苦闘の子供達でしたが日本の文化に興味を持つての参加でした。

午後は四国中央市に移動しての手漕ぎ和紙の体験をして夕刻に帰着後に食事をして、その後日本お手玉の会の方々との交流をして二日目を無事終了しました。

23日はしまなみ海道の東島海峡大橋をテクテクのウォーキングで天気も快晴でスタッフも子供達も汗、汗、汗、熱中症にも成らず全員完走(歩)？その後、今治城のお城見学、タオル美術館でのお買い物で帰りのバスで

は全員スヤスヤの爆睡、帰着後は食事前に海水浴!!

夜は篠笛のコンサート、童謡、日本語にうっとりしました。

最終日24日は午前中に世界1位の総合科学博物館のプラネタリウムの鑑賞。

その後、開村式の開催と成りました。

子供達は最後まで別れを惜しみながらそれぞれのホスト家庭のお迎えに解散と成りました。

情報不足、準備不足にも関わらずスタッフの方々の寝起きを共にしての子供達のお世話に「子供達のために汗をかいて」の委員会のモットーの基に事故もなく無事にキャンプを終了する事が出来ました。

委員会の皆様、ホストしC、ホスト家庭、地元地域の方々全てに感謝を申し上げます。

このサマーキャンプを通じて参加した子供達が相互理解の大切さを理解し合い国家間の親善に努め世界平和に貢献し社会奉仕の架け橋と成る

ことを希望致します。

思い出の写真の中の子供たちの笑顔は我々関係者の宝物です。

ありがとうございました。



# YEサマーキャンプ 開村式が 新居浜市で開催

2010～2011 地区誌編集委員  
田尾 忠士

ライオンズクラブ国際協会336-A・B地区合同でYEサマーキャンプが2010年7月21日(水)～24日(土)まで、新居浜市垣生のマリンパーク新居浜で行われました。

7月21日(水)午後4時マリンパーク新居浜に、新居浜市長代理・副市長 石川勝行氏ライオンズクラブ国際協会336-A地区ガバナ― 宇高昭造氏 始め336-B地区の各役員の方々ご出席をお迎えして開村式を行った。来日生13名の入場があり席に着いた後、初めに336-A地区YE・国際関係







委員長 伊東義章氏の挨拶を始め来賓者の挨拶をいただいた。今年度のY E生336—A地区で6名と336—B地区で7名の合同13名のYEサマーキャンプでした。我が新居浜ひうちライオンズクラブにもメンバーの矢野二郎氏の息子さんと夫婦の所へホームステイをしている台湾からの女性Y U S H I J N O N Gさんがいました。開村式には来賓者の他に336—A地区宇高昭造ガバナー始め336—A地区第1副地区ガバナー菅武廣氏336—B地区役員共24名と通訳の方2名、新居浜別子LC・YE委員長他数人の出席、YE生受け入れ家族の方々総勢50名以上の盛大なる式典でした。報道人は新居浜ハートネットの女性カメラマンと川之江からビデオカメラマン1人だけでした。各報道機関は参議院選挙中だったのか1人も来ていませんでした。6時からウエルカムパーティーが開かれ食事の間に来日生の自己紹介・挨拶がありゲーム等をして1日目が終わりました。

2日目は7:30より朝食8:30分マリナーパークを出発して新居浜の瑞応寺にて9:00より本堂で般若心経を唱えて座禅、その後同じ場所です事をいただいた。12:00過ぎ川之江(紙のまち資料館)へ手すき和紙作成と館内見学・水引(ストラップなど)作成・大玉製紙(株)工場見学・マリナーパーク新居浜へ18時過ぎに到着・中庭でのパーベキューの夕食20:00より日本のお手玉の会



との交流2日目も21:00過ぎ終わりでした。

3日目は7:30分より朝食8:30分マリナーズ新居浜を出発、今治系山公園展望台10:00過ぎ着、来島海峡大橋を徒歩にて渡ること40分馬島バス停留所からバスで亀老山展望台へ30度を越す晴天の中スナップ写真を撮り、昼食後、来島海峡潮流体験・今治城見学・タオル美術館を見学してマリナーズ新居浜に18:00過ぎに到着、何人かはマリナーズの浜辺で海水浴をしました。そして、夕食後、阿部一成篠笛コンサートを開き21:00終了でした。

4日目は7:30朝食後8:30分マリナーズ新居浜を出発し愛媛県科学博物館館内見学プラネタリウム見学、昼前にマリナーズに帰り昼食後12:30分より閉村式を行い、この4日間の暑い暑いサマーキャンプが終わりました。来日生は各ホームステイの家族と一緒に帰られました。336-A地区の役員の皆様マリナーズで寝泊まりをされた。336-A地区副幹事・YE担当 新居浜中央ライオンズクラブの白石総雄氏、新居浜中央ライオンズクラブの336-A地区2R・YE・国際関係委員の畑嶋理久次氏、336-A地区YE・国際関係委員長 新居浜別子ライオンズクラブ 伊東義章氏始め新居浜別子ライオンズクラブのメンバーの皆さん下準備から片付け迄、色々と暑い中お世話になりました。期間中暑







い中来日生1人の故障者もなく無事終  
わった事が何よりでした。私も地区誌  
編集委員として記録撮影とYJ生と共  
に行動をして経験をして見学をし勉強  
になりました。有難うございました。



Annabelle Régent フランス  
アナベル レシヨン



とても楽しかったです。私は日本の文化と日本の  
景色が大好きです。だから良かった！ 食事は大変でした。  
足が疲れたから良かった。いつでも日本の料理は美味  
しいです！音楽(古いのは)は面白かったです。習っ  
ていましたから楽しかったです。

私は日本語話せるようになりましたから良かった  
が、他の留学生はあまり分からないことがいっぱい  
ありました。

夜にもうちょっと遊びたい◎ Volley Ball と  
か決めたこと... I also think this camp was too short so it was a bit too  
much (too busy) in one time. We didn't have time to know each  
other...

ありがとうございました。フランスへ来てください♥



エマ チェコ



キャンプの期間が短くて残念です。  
忙しすぎてお互いを知り合う時間があまりなかった。

プログラムはよくできていて、楽しかったです。す  
べてに笑顔があればと思います。  
たとえば、今日のプラネタリウム。  
とても素晴らしいです。たくさんの笑顔があったのに  
全部日本語だったこと。それから、お城、日本人ガイ  
ドと通訳がいたのに通訳しなかったこと。お城の中  
が混雑だった。時々通訳してくれなければ声が小さ  
くて聴き取れなかった。  
泳がなくて本当に良かった。  
できればもう少しだけ自由な時間があれば良かった。  
日本人の夜の生活を経験するために遊んであげたかった。

日本文化に触れる機会と、キャンプで出会った素敵な人々との出会いの機  
会に感謝します。

Sabire オランダ



\*好きだったこと  
クルージング、水泳、寺、バスツアー(美しい景色)、  
橋の上を歩いたこと、他の学生達と交流できたこと。  
\*嫌だったこと  
製菓工場(暑すぎたことと実際の味がなかった  
こと)。

\*今後交換できると良いなと思うこと。  
笑顔の印刷をして欲しい。(プラネタリウム、語学  
先の美術館など)  
もっと水泳の時間が欲しい。  
交換学生の数よりも、ライオンズメンバーが多い  
こと。みんなの少しだけお話を聞きたい。

でも、楽しかったです！

蔡淑茹

台湾



今回、ライオンスクラブの学生として、みんなと一緒にサマーキャンプに参加してとても楽しかったです。22日に、毎夜毎に音楽を体験して、とても良かったです。1時間くらいあけてから来て、汗がずっと止まらずに、寝る時も、あぐらをかきながら、ご飯を食べるまで大変でした。朝に起きる作り方の歴史は昔と現代、全然違いますね。朝の作り方を体験してから、もっと楽しくなっています。他の人は、お土産で選んだり準備ができて、実際には自分で選んでから、買っていました。22日に色んな所を回って、周囲の綺麗な風景を見て、とても楽しくて、気分が良かったです。夕暮れ時分には、夕暮しの作り方を体験して、買って行くのは良いけれど、時間が少ないので、ちゃんと買いたいものがなくて、残念でした。サマーキャンプで、色んな所を回って、体験が実感がとても良いですけど、みんなと一緒に色んな所を回って、文化交流が、基礎の歴史と色んな色んな事を学んで、すごく楽しかったです。最後に、この頃、お土産を買ってありがとうございました。そしてみんなにプレゼントも買って、ありがとうございました。私も、プレゼントを大切にしています。

エリザベス

アメリカ



キャンプに参加する人たちが、それから友好的な雰囲気を楽しんだ。活動もすべて楽しかった。花火がもう少し良ければ、でも素晴らしい。食後のジャグリングやゲームはとても楽しかった。私が食べられる物を見つけようとしてくれたことに感謝します。全体としてキャンプは楽しかったです。

郭 苑宜

台湾



食べ物が美味しかった。スタッフの皆さんが親切。スケジュールに工夫を。バックアップが万全だった。バスのクーラーが壊れた。英語の通訳が分かりにくい。スケジュールが厳密だが、時間が足りなくて見逃したところが多いように感じる。熱くて、酔っ払い。バスの中に飲み水がない。夜間照明も少ない。



李秋薇

台湾



今回のYE CAMPのスケジュールは、非常にバラエティーに富んでいましたが、時間配分が少し厳しかったと思います。それぞれの場所での滞在時間がわずか30分程度しかありませんでしたので、観光スポットの現地文化などについて知ることができず、少し残念でした。次のキャンプでも中国語の通訳者を希望します。日本語ができない、英語も流暢ではない台湾の学生たちが、見事に通訳をもっと深く知ることが出来るからです。全体的に、今回のキャンプに参加できて、非常に楽しかったです。食べ物も量も種類もたくさんあり、とても美味しかったです。各所からのご招待を本当にうれしく思います。ご招待いただき本当にありがとうございました。今回のキャンプは、決して忘れることのない、いい思い出になりました。

喻詩曠

台湾



サマーキャンプが面白かったと思います。一日のゲームには参加しませんでした。いろんな国からのYE生と友達になれてよかったです。でもお風呂の時間はちょっと短く感じました。日本の文化や歴史など、生活習慣も改めて体験したのです。おきでお休み、食事を、朝ではおきを作って一緒にバーベキューと飲みました。自費のものもあるし、費用文化も体験させていただきました。ちょっと残念ですけど、全体にスケジュールがタイトで感じますが、到着のアレンジを遊覧さんがもっと上手くなかったらいいなと思います。夕暮れ記念館は広くて、見事な物がいっぱいあって、50分がなくてちょっと足りなかったと思います。遊覧さんたちは一人で、車いすしか付き合っていないから分からない所があって残念だと思います。ライオンスクラブの人たちはずっとYE生のために考えてくれて、ありがとうございます。僕は親切で優しいと思いますよ。このサマーキャンプはいい経験になるだけではなく、素敵な思い出になると思います。





### 余庭薇

台湾



今日のライオンズクラブが主催したキャンプに参加できてとても楽しかったです。お昼で、行事の中で、新しい友だちと知り合えて、スタッフの皆さんは、ずっと付き合ってくれて、ほんとに感謝しています。四日間、皆さんのお世話になり、思い切り楽しめました。食事等は、大変美味しかったです。満足しました。全体に思うと、今日のイベントは、とてもよかったです。日程だけ、短かったです。バスに乗る時間が長く、準備時間は、短かったです。スケジュール表にもうちょっと配慮していただけたら、もっと良かったです。

通訳の皆さんも、二日だけ中国語の通訳を配慮してくれましたが、少し残念に思います。

夜の活動では、私たちは日本の伝統芸能をより深く理解させてもらうことができました。今日のキャンプは、大変勉強になりました。

キャンプを主催したライオンズクラブに感謝します。

### 陳宜君

台湾



会場は美味しかったです。サービスも行き届いていました。皆さんは、元気で、楽しかったです。夕方の準備等は、とてもきれいでプレゼントも貰いました。靴の型は、可愛くて地方の特色があります。

新選等は、とてもきれいです。私は、髪に受かったり、髪を伸ばしたりするの好きです。海が大好きです。沢山の外国人と知り合い、お話をすること、しほなみの海を歩くのも、みんなおもしろいです。フレッシュな感じがします。

夕方の中は暑かった。お昼と夕方にはお昼が短い。毎日、楽しかったです。二日だけ中国語の通訳が来た。ライオンズクラブの皆さんのキャンプの準備にはほんとに感謝しています。スポンサーの皆様も、タオル、帽子全部準備してくれて、親切で、本当にありがとうございます。

スタッフの皆さんには、四日間お世話になり、一緒に、スイカ割り、ゲーム、歌遊び、コンテスト等を楽しめることができ、楽しかったです。

最後に、タオル準備等の皆さんは、日本のことが、より一層理解できました。今後、日本で、皆さんの日本語が、書かれています。機会があれば、もう一度台湾に遊びに来たいです。LOVE YOU!!!



### 劉力豪

台湾



スケジュールは、余りにも忙しくて、良くなかったと思います。

車の中暑かった、とても暑かったです。

しかし、サービスは、とてもよかったです。

7月23日の英語ガイドさんは、レベルが低すぎて、何も通訳できませんでした。肝心なところを、殆ど訳していなかったんで、ちょっと残念でした。

### バジャー

トルコ



すべて素晴らしいかったです。素晴らしい経験をありがとうございます。

### Tyler MITCHELL

アメリカ



キャンプ期間が短すぎる。少し盛りだくさん過ぎる。お互いに交流する時間がなかった。

2010・2011

## ワークショップ

最近では、ライオンズクエストプログラムは日々大きな反響を呼んでおります。青少年育成支援フォーラム（JYD）の報告により、今期のワークショップ開催は、全国で100回を超えると同じました。又、9月に行われました複合地区のライオンズクエスト委員会でも、各地区共に活発な活動を展開されているとの報告がありました。それが、それと同時に交付金不足となっており、今期開催されているワークショップは以下の通りです。

ライオンズクエスト運営委員長 北川 渉

鳴門  
ライオンズ  
クラブ

2010年

## 鳴門ワークショップまでの歩み

ライオンズクエスト特別委員会委員長 春木 扶佐子



今、思い起こせばワークショップ開催までに2年2カ月の歳月を要しました。私が会長就任前の2008年6月3日役セミナーにおける北泰子さんの「クエストとは？」の講演を聞き「これはいい事業、今の子供たちに絶対、必要、鳴門で開催したいね」と。開催するには、まず、クラブにクエストを理解してもらったことから始めました。

2009年1月鳴門ライオンズクラブが開催したワークショップへ鳴門より2名の先生を参加支援クラブより私と井上青少年委員長2名で参観させていただきました。想いは強くなりました。3月には修了された先生方を例会に招き、学校現場での実施状況を発表していただき、クラブの理解は一歩前進。7月ライオンズクエスト特別委員会を設置。

10月には北川渉地区運営委員長、北泰子両氏を招いての例会開催。二歩前進。その後、教育委員会、校長会、PTA連合会へクエストについて熱く語りかけました。

2010年6月12日鳴門市共済会館にて田川薫セミナー講師を招き体験会開催。

教育関係者、保護者、ライオンズ合計67名の参加をいただき、当クラブの会員も多数参加し理解が深まりました。ワー

クシヨツ開催の前段階において、体験会開催の必要性を強く感じました。地元ケーブルテレビでの報道はライオンズクエスト事業のPRにもワークショップの参加呼びかけにもつながりました。その後、委員会を重ね、各学校、ライオンズクラブに説明案内を繰り返しました。そして8月21日（土）22日（日）鳴門市第一中学校におきまして青少年育成支援フォーラムより北山敏和クエスト認定講師を招き、公募型ワークショップを開



催、教育関係者19名ライオン2名を含む計21名が修了書をいただきました。それぞれの参加者がグループ活動を通して、意見を述べ合い、いい雰囲気の中でスキルを学ぶことができました。猛暑の中、真剣な先生方の体験授業に圧倒された2日間でした。参加者は20代30代が多く、学校現場に戻ってすぐにでも実践したいという熱い声が多く聞かれました。

○思春期の子どもたちの発達段階を考慮したプログラムで充実した2日間でした。

○たくさんのお話を学びましたがこの経験を活かして、子どもたちのシグナルを見つけ、より良い明日へ導いてくれる教師になりたい。

○世の中に多様なプログラムがあるが、今回の資料のように実際、授業するにあたり、指導案が示されているのは、授業者にとつてとても分かりやすいと感じた。

○さまざまなスキルは子どもたちが本当に知りたい事だと思いました。様々なグループ分けの方法や文字や言葉だけでなく絵で表現するなどの多様な表





現方法を取り入れながら子どもたちにライフスキルを伝えたいです。

○模擬授業をすることで内容がよくわかり、テキストもどしどし活用したい。学校での研修ではない、ライオンズクラブのみなさんの親切な対応もすごくよかったです。

○最も強く感じたのは集団で学ぶ雰囲気作りの大切さとお互いに理解しあうためのコミュニケーションの大切さ。自分自身の学級作りをしていくうえで大変、ためになった。

また、プログラムを修了した人たち同士で集まり、授業実施後の報告やアドバイスをいたただける機会を設けて欲しいなどのライオンズクラブへの今後の展開について要望もいただきました。ワークショップを開催して良かった！  
爽直な感想です。

私も鳴門ライオンズクラブはこれからも子どもたちが「ライフスキル」を身につけて健全な大人として成長するためにプログラムを届ける努力を続けていきたい、サポートをしていきたいと思っております。最後になりましたがご支援いただきました徳島ライオンズクラブ、藍住ライオンズクラブ、北島ライオンズクラブ、各ライオンズクラブの方々、北川渉クレスト運営委員長には心より感謝を申し上げます。



高知ライオンズクラブ

## 2010年 高知ワークショップを終えて

高知ライオンズクラブ 北 泰子



2010年7月24日(土)・25日(日)の2日間、高知市春野文化ホール ピアステージ 小ホールにおいて、公募型ワークショップを開催しました。3361A地区四国中央キャピネットと青少年育成支援フォーラムの支援のもと、高知では2回目の高知市内ライオンズクラブ(高知鏡川LC・高知東LC・高知とさみずきLC)合同のアクティビティとして行いました。また、今回も高知県教育委

員会と高知市教育委員会の後援をいただきました。

参加者は学校長1名、教諭6名、教育関係者6名(カウンセラー1名・指導員1名・相談員4名)、ライオンズクラブメンバー5名の合計18名でした。

今回のワークショップのご案内をする中で、実施日が高知県中学校体育大会と重なっていたため、「残念ながら参加できない」との学校の先生の声を多くいただきましたので、今後実施日決定時には学校年間行事を考慮しなければいけないと反省しました。

ワークショップ初日は、会場設営・駐車場と会場案内を高知東ライオンズクラブメンバー3名が担当、受付・会場準備・お茶・お菓子・コーヒー・昼食弁当の準備を高知とさみずきライオンズクラブメンバー5名が担当しました。2日目のお茶・お菓子・コーヒー・昼食準備・終了後の荷物送付等を高知とさみずきライオンズクラブメンバー5名が担当、会場撤去・荷物運搬作業を高知東ライオンズクラブメンバー3名が担当しました。また、高知鏡川ライオンズクラブからは

支援金協力があり、高知市内3ライオンズクラブ合同アクティビティとして開催することができました。さらに、高知東ライオンズクラブ副会長・高知とさみずきライオンズクラブ会長がライオンズクエストプログラムに対する理解を深めるため、受講者として参加しました。

受講者の中には学校長から言われてしかたなく参加したという先生もいましたが、1日目終了時には、「本当に参加して良かった。」「初任者であり、学級の集団を自分に向かすことができなかったが、悩んでいたが、このワークショップで解決策が見えてきた。」との感想が出ました。また他の先生からは「学校現場で生徒に何をしたら良いのかわからない場面が多かったが、このプログラムには詳しい解説書があり、役に立ちそうだ。」という感想を含め、「参加して大変良かった。」との声が多くありました。

また、参加ライオンズからは「このプログラムは大人の社会でも使えるスキルであり、人間関係を良くしていく方法を学ぶことができ、個性の強いライオンズクラブの集団の中や職場を含む社会で使うことができる」と学校の先生に学んでもらいたい。」「早速クラブに持ち帰り、地域の学校に紹介したい。」との感想が述べられ、このライオンズクエストの「ライフスキル」の有効性が確認されました。



今回は少人数(18名)のワークショップ(通常は30名前後で開催)でしたが、それぞれの参加者がグループ活動を通して楽しく学び合い、大きな成果が実感できたようです。今後も、子どもたちが「ライフスキル(生きる力)」を身につけ、明るい未来を切りひらいていけることを願って、このライオンズクエスト「思春期のライフスキル教育」プログラムを地域の子どもたちに届ける努力を続けていきたいと思っています。

最後になりましたが、初日の開講式には北川渉ライオンズクエスト特別委員 会委員長、細木磨子6R-12ゾーンチエアパーソンのご出席をいただき、今後の活動の励みとなりました。



8月の2日3日の二日間、ライオンズクエストワークショップを開催しました。

今回は公募型で、昨年度の校内型とは違い各校先生方の日程の都合もあり、参加者を集める難しさを痛感しましたが、南部中学校校長はじめ先生方のご理解とご協力、336-A地区ライオンズクエスト特別委員長、副委員長に力添えを頂き、無事開催することができました。



J-IYD認定講師の嶋田祐子先生を招き、参加者19名、ボランティアスタッフ2名のワークショップとなりましたが、両日とも嶋田講師の軽快な運営とスピーチの中、参加者全員の熱心で活発な学習態度と和気満々とした雰囲気印象に残るものでした。

今後は各学校で、思春期の生徒達にライフスキルの実践教育がなされることと確信しました。

徳島  
ライオンズ  
クラブ

### 校内型から 公募型ワークショップ開催へ

徳島ライオンズクラブ 会長 矢田 明





坂出  
ライオンズ  
クラブ

## 県下、初の校内型 ワークショップ開催

ライオンズクエスト特別委員 河津 學

「思春期のライフスキル教育」プログラム提供

第三回 坂出ワークショップ 八月十七日(火)・十八日(水)

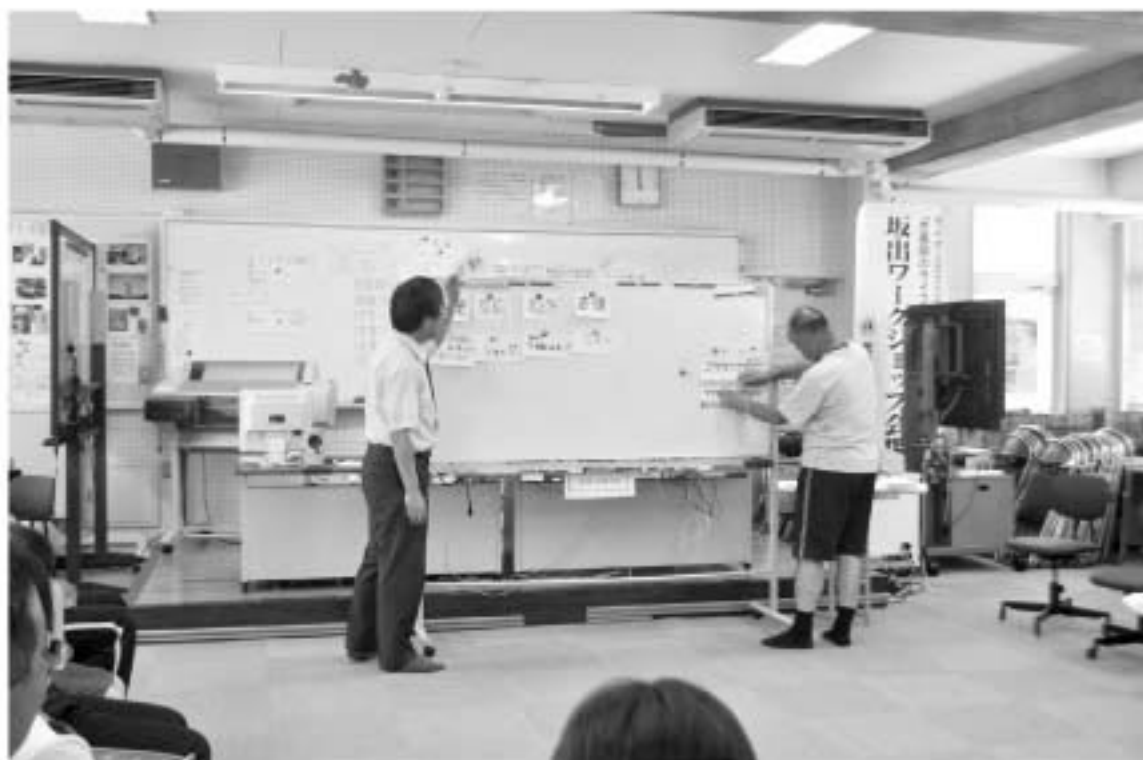
坂出市立坂出中学校において

坂出ライオンズクラブでは2008(平成十九)年からライオンズクエストに取り組み、本年三回目のワークショップを県下で初の校内型で開催することができた。

過去二回の公募型ワークショップにおいて最も多い十三名の受講者を派遣されている坂出市立坂出中学校で校内型のワークショップを開催できたのは本年十一月十一日に香川県教育研究会学校保健部会の研究発表会があり、「思春期のライフスキル教育」のプログラムの内容や指導方法が大変参考になると前校長先生や先生方が考えてのことだったようである。しかしながら、本年の三月末の教職員の人事異動により校長先生をはじめ、教職員の三分の一までが異動し、ワークショップを過去に受講した教員は僅か一名のみとなっていた。

それでも全教員三十二名中に二十一名の受講者で二十名の教員が講師の北

山敏和先生から修了証を渡され、九月からの授業実践に活かせるようになった。有意義な研修であった。



地区IT委員会よりお知らせ — こんな感じのホームページがブログ感覚で簡単に作れます。 —

# 「ライオンズEクラブハウス」でHPを作ろう!



## 奉仕事業ページ



## 予定表



## 組織表



国際協会が、「Eクラブハウス」という無料でクラブのホームページが作れるツールを用意してくれました。ライオンズクラブ用のテンプレートを使ってワープロやブログの感覚で簡単に作成、更新が出来ます。まだHPを持っていないクラブは、このツールを使って是非HPを立ち上げてください。

「Eクラブハウス」の開設の方法は、地区ウェブサイトの「地区のIT相談室」をご覧ください。  
<http://www.lc336a.gr.jp/>  
 ご不明な点がございましたら、担当リジョンの地区PR情報委員にお問い合わせください。





<http://www.e-clubhouse.org/index.php?language=JA>



### 336-A地区内のEクラブハウス登録クラブ<10月25日現在10クラブ>

四万十ライオンズクラブ <http://www.e-clubhouse.org/sites/Shimanto/>

坂出ライオンズクラブ <http://www.e-clubhouse.org/sites/Sakaide/>

小松島ライオンズクラブ <http://www.e-clubhouse.org/sites/Komatusima/>

川之江中央ライオンズクラブ <http://www.e-clubhouse.org/sites/KawanoeChuo/>

徳島西ライオンズクラブ <http://www.e-clubhouse.org/sites/TokushimaNishi/>

徳島中央ライオンズクラブ <http://www.e-clubhouse.org/sites/TokushimaChuo/>

新居浜別子ライオンズクラブ <http://www.e-clubhouse.org/sites/NiihamaBesshi/>

伊予小松ライオンズクラブ <http://www.e-clubhouse.org/sites/IyoKomatsu/>

伊予三島法皇ライオンズクラブ <http://www.e-clubhouse.org/sites/IyoMishimaHoo/>

保内ライオンズクラブ <http://www.e-clubhouse.org/sites/Honai/>

### 地区IT委員会よりお知らせ2

#### キャビネット「ツイッター」



今話題のツイッター。キャビネットも7月からはじめました。ネットやクラブがフォローしてくれています。地区内の152クラブがツイッターを始めてキャビネットのフォローになれば大変便利な情報ツールになります。登録無料ですので是非登録してみてください。

#### ガバナー「ブログ」



宇喜地区ガバナーが自ら更新しているブログです。更新も頻りにされているのでまだ見たことない方は、是非見てみてください。写真も文章もかなりボリュームです。ブログの更新を自ら行っているガバナーは日本で恐らく宇喜地区ガバナー一人だけ！地区を越えて今話題のブログです。

どちらも地区ウェブサイトからアクセス出来ます。<http://www.lc336a.gr.jp/>

## 2010・2011 LCIFセミナー

## LCIFセミナーを終えて

青少年・LCIF・市民奉仕・児童奉仕委員会

委員長 石川 和謙

10月2日、西条国際ホテルで開催されたLCIFセミナーは、予定していた250名の受講者数を上回ることで、担当委員長としての責任が果たせました。その要因は、なんと言ってもゾーン単位でのガバナー公式訪問の際の受講参加を呼びかけたことに地区内全般がそれに応えていただいた結果だと判断します。

この企画は、昨年9月から練られたもので、ガバナーの運営基本方針に沿った今期のキャピネットの目玉商品です。講師の依頼から始まり開催日の調整、会場や駐車場の確保など全てがうまく合致して開催の運びとなった事は大変ラッキーだったと思います。

LCIF財団の講師、田辺雄雄氏の巧みな話術により、和やかな中で献金や交付金の申請など大変解りやすい説明内容でした。LCIFについて多少な疑念を持たれていた方々

にも理解していただけたのではないのでしょうか。今後それぞれのクラブにおいて運用の機会に直面した場合の対応に充分役立つものと確信する次第です。







2010・2011

アクティビティ

## タンデム自転車で 視覚障がい者とはしる —ブラインドサイクリング2010—



平成22年8月1日付で愛媛県は道路交通規則を改正し、タンデム自転車(二人乗り自転車)の一般公道の走行が、兵庫、長野、山形に次いで4番

目に可能になりました。  
「しまなみ海道」をもつ愛媛県に、また一つ新たな観光スポットが増えたことになりました。

これを受け今治東ライオンズクラブ(会長・越智英年)は、普段、自転車に乗ることの困難な視覚障がい者に、自分の足でペダルを踏み、サイクリングの楽しさと、潮風を体感してもらおうと「ブラインドサイクリング2010」を9月11日(土)、地元NPO法人「シクロツーリズムしまなみ」の協力を得て、「しまなみ海道」沿線の今治市波方の海岸道路で開催しました。

視覚障がい者13名を含む一般参加者70名に、今治東ライオンズクラブ会員と他のスタッフを加え、総勢

140名が参加しました。

まだまだ残暑の厳しい一日ではありましたが、怪我やトラブルも無く、視覚障がい者の皆さんも「楽しかった」「もっと乗りたいかった」と大喜びでした。日本で最初のタンデム自転車による視覚障がい者のためのイベントになりました。

今治東ライオンズクラブは、このイベントを開催するにあたって、協力してくれたNPO法人「シクロツーリズムしまなみ」にタンデム自転車2台を寄贈し、活用してもらったことにしました。

(今治東ライオンズクラブ)

PR委員長 井出 純司



## 初めての4ゾーン合同 アクティビティを 「ビバスポルティア西条」で

10月3日(日)、西条市障がい者連  
合会主催による「第6回ふれあい運  
動会」に参加。2R4Zの4クラブに  
よる「餅つき大会」を実施し、障がい  
者の方がたに実際に餅をついてもら



いました。  
このふれあいを通じてお互いの相  
互理解と関心が高まり、障がい者の  
社会参加を促進すると共に障がい者  
福祉向上に協力できたかなと思いま  
す。

4クラブから50名参加しました。  
運動会には10名が競技に参加。餅つ  
きには40名参加で紅白餅600名分



(24升?)を「杵と臼」、そして「電気  
餅つき機」と「電気餅きり機」の電気  
の力も借りてなんとかやり遂げまし  
た。

障がい者の方がたとの餅つきは昼  
の休憩時間を利用したのですが、  
餅をつきたい方が列をなし心温まる  
合同アクティビティになったと思っ  
ます。

年一回は合同でのアクティビティ  
を来年もぜひやってみたいものです。  
4クラブの皆様お疲れ様でした。  
(2R4ZC 花山志郎)







2010・2011

例会訪問

## 宇高昭造336—A地区 ガバナーをお迎えして

### 志度ライオンズクラブ (入会式)

8月4日(水) 会場 小松真珠荘

4R—3Z志度LC(稲富英機会長64名)は、さる8月4日(水)国際協会336—A地区宇高昭造地区ガバナー、藤澤久キヤピネット幹事、大山茂樹さぬき市長、松岡豊RC、松村勝彦ZCら多数の来賓の御臨席を賜り、5名の新会員を迎えての入会式を執り行った。

華美にならず、おごそかな中にも品格のある入会式と言う伝統を守り、昨年11月(6名同時入会)に続き地区ガバナーをお迎えしての入会式となった。

来賓各位からは、困難な状況の中大きな成果を上げている志度LCに敬意を表すとのこと言葉をいたしたき、クラブ員一同なお一層の会員増強を図り「知恵と勇氣 情熱をもってウ

イサーブ」に努めるとの決意を固めあった。

昨年11月のように我がクラブ自慢のコスモスの花で卓上を飾りつくすことは出来なかつたが、5名中2名が女性会員ということでコスモスに



勝るあてやかさを演出していただけた。

なお、当日は、納涼例会でもあり、法被姿の計画委員たちの奮闘で、来賓、新会員ともにすぐに打ち解け、和気あいあいの内に懇親会の時が過ぎて行った。そして、名残りは尽きぬままに遠来の宇高地区ガバナーらをお礼の拍手でお送りしたのであった。

志度LC認証45周年の年に、幸先よいスタートが切れたものと喜んで

(志度ライオンズクラブ)

会長 稲富 英機



## ガバナーを迎えての入会式 野村ライオンズクラブ

8月19日(木) 会場 西予市商工会野村支所 2Fホール



今年はうれしいことに5名の新入会員を野村ライオンズクラブに新たな仲間として迎えることができました。

入会式を執り行うにあたりまして、地区ガバナーの宇高様を始め、キャピネット幹事の脇様、3R担当副幹事の伊原様、大塚RC、大気ZC、3R3Z、3R1Zの4クラブの仲間

の皆様のご出席を賜りまして、大変やかな入会式になりましたことを改めましてお礼申し上げます。

若いフレッシュな方たちの入会で、マンネリ化しがちな活動にも、新しい風をおこしてもらって今までの伝統と融和していけることを心より願っております。昨今の我々を取り巻く状況の厳しさから、日頃自分の家族や属している企業等を守ることに終始しておりますが、もちろんそれが大切であることに変わりはないのですが、そういう自分でも何か人のため社会のため役に立てることがひとつでもあるということが、これから必要になってくるのではないかと、またそうありたいと想いはじめております。

このような未熟な会長を当クラブの諸先輩方が常々ささえていた、たくさん、またガバナー始めキャピネットの方々に暖かいお心遣いをいただくことに、感謝の意を表しながら今

後の活動につなげていきたいと思っております。

(野村ライオンズクラブ)

会長 大塚博之





# ガバナーも踊った！ 鳴門ライオンズクラブ（阿波踊り例会）

8月10日（火） 会場「富久美」



8月10日鳴門ライオンズクラブ恒例の阿波踊り例会がキャビネットからご出席の宇高地区ガバナー、脇キャビネット幹事をお迎えして会場「富久美」で盛大に行われました。参加者のほとんどが踊り衣装を着ての例会であり、9リジヨン1ゾーン内から地区役員、各クラブ三役、また友好クラブの南淡LCを始め多数の出席が

あり、会食後のほろ酔い気分のなかを商店街とメインである枝敷の2会場にクラブ旗を持つ中西会長を先頭に、踊子とお囃子で総勢92名の鳴門ライオンズクラブ連として踊り込みました。踊りには毎年継続アクトイビティとして青少年健全育成目的で地元の2校の小学生を踊子として招待しているものであり、クラブ員が薬物乱用防止推進運動ダメ、ゼツタイの横断幕を持ち、枝敷内の両側ではキャンペーン用のうちわやティッシュを配り懸命にライオンズの



PRをして回りました。宇高ガバナーはお祭りが大好きらしく、初めてと言えない素晴らしい踊りで我がクラブの阿波踊り連を大いに盛り上げて頂きました。1ヶ月前からの練習の成果を各会員、子供達共に今年の猛暑を吹き飛ばす勢いで「踊らにゃそんな」とライオンズ仲間が乱舞した真夏の一夜でした。

（鳴門ライオンズクラブ

阿波踊り実行委員長 西谷修司）



## 恒例の懇親会

第1007回例会

## 綾歌郡ライオンズクラブ(どじょう汁移動例会)

9月6日(月) 会場 綾川町滝宮公民館 2F



9月6日、綾歌郡ライオンズクラブは、宇高地区ガバナー出席の下、第1007回例会を開催した。

今回の例会に於いて会員一同誇りに思うのは、宇高地区ガバナーの下、新会員2名の入会式が出来た事である。私にとってライオンズクラブの目的達成とは、まず会員増強である。11月には新たに1名入会予定であり、喜ばしい。

当クラブ恒例の田舎の懇親会とも言うべき移動例会では、自慢のどじょう汁を振る舞う。どじょう汁(どぜう汁)を大釜の中へ水7分目、採れたての野菜、豆腐、綾川町うどん研究会の秘策のだし、打ち立てのうどんを一気に炊き上げるのである。それを親しく交流のあるオイスカ研修生とクラブ会員により支給した。すると何処からともなく「このどじょう汁(どじょう汁)こつちじつと見よるぜ。」「このどじょう汁から食べるんな、しつぽから食べるんな。」と

会話が飛び交い、賑やかで楽しい一時となった。ご出席の方々とのオイスカ研修生のお国自慢のダンスの中には、宇高ガバナーの心のこもったやさしい明るい人柄にも触れる事が出来た。

私のスローガンである「何事にも一生懸命、汗かいてウイ・サーブ」は、人生何事にも明るくやさしく心を込めて一生・一所汗かいてウイ・サーブする事をも意味する。当クラブでは長年継続しているアクティビティが多々あるが、今後も何としても継続し、地域の人々に喜んで貰える奉仕に精進する思いは大である。

猛暑日の中、例会訪問にご出席頂いた皆様へ感謝の心を持って閉会ゴングをたたかせて頂いた。

今後共綾歌郡ライオンズクラブに温かいご支援、ご指導の程宜しくお願い申し上げます所存である。

(綾歌郡ライオンズクラブ)

会長 横井 憲







# 十四名の新入会員

第1100回例会

## 松山中央ライオンズクラブ 記念例会(入会式)

9月28日(火) 会場 松山全日空ホテル南館 4F エメラルドルーム

会長スローガンとして『磐石なクラブ基盤の再構築』を最重要案件にかかげスタートした我がクラブは、『クラブ基盤の土台は会員数とその団結にあり、そしてクラブ会員数100名を基本にしよう』と執行部で決定し、丁度区切りとなる1100回記念例会を現在88名の会員数から、クラブ創立以来最大の100名を目標にして開催する事にしました。

以後「100人目のメモリアルメンバーになりませんか」を謳い文句に7月8月の2ヶ月間、尾田仁会員増強特別委員長のもと、会全員による会員獲得活動の結果、12名のスポンサーにより14名の新会員推薦書が9月会員会則委員会に提出され、その後、理事会・第1例会で承認され9月28日(火)新会員14名の入会式をメインイベントとする第1100回記念例会が、3361A地区宇高昭造 district Governorをはじめ臨キヤピネット幹事・後藤

1RC・岡田1R3ZC・スポンサークラブ道後LC吉田会長を御来賓に招き盛大に挙行する事が出来ました。

式典において、宇高地区ガバナーからは、温かい祝福と励ましの祝辞を、又、新会員14名一人一人に記念品を頂き、祝賀会においてもガバナー自ら5名のチャーターメンバーをはじめほとんどの会員にお声かけを頂き会場は大いに盛り上がりました。

今回創立以来最大の会員数102名のクラブに成長した松山中央LCは、新しい境地に立ち新しい展開を模索しながら今まで通り強い団結心と、協調心で益々のクラブ内容の充実と発展を目指し、地域と密着した社会貢献と奉仕に精進する事をあらためて、皆で誓い合いました。

(松山中央ライオンズクラブ)

会長 友澤節男



336-A地区会員現況

(2010年7月1日から2010年9月末日)

R	Z	クラブ名	期首	期末	増減
1	1	松山ホスト	43	43	0
		久万	25	24	-1
		松山東	37	45	8
		坂部	37	40	3
		松山つばき	46	47	1
		松山城山	40	40	0
	Z合計		228	239	11
	2	松山道後	65	64	-1
		伊予	51	50	-1
		松山西	44	43	-1
		松前	19	18	-1
		松山北	41	41	0
		松山湯葉	38	36	-2
	Z合計		279	274	-5
	3	北条	26	26	0
松山中央		86	102	16	
松山南		29	31	2	
東温		32	32	0	
松山金亀		38	38	0	
松山白鷺		52	54	2	
Z合計		263	283	20	
R合計		770	796	26	
2	1	新居浜	60	62	2
		新居浜中央	44	43	-1
		新居浜別子	34	34	0
		新居浜ひうち	36	34	-2
		Z合計		174	173
	2	今治	61	60	-1
		今治中央	65	65	0
		今治東	52	55	3
		今治くるしま	58	60	2
		今治サーチング	23	22	-1
	Z合計		259	262	3
	3	伊予三島	42	42	0
		川之江	47	47	0
		伊予土居	38	38	0
		伊予三島法皇	36	37	1
川之江中央		29	30	1	
Z合計		192	194	2	
4	西条	51	53	2	
	東予	45	45	0	
	伊予小松	13	13	0	
	西条石蔵	51	51	0	
	Z合計		160	162	2
R合計		785	791	6	
3	1	大洲	46	47	1
		宇和	25	26	1
		伊予長浜	15	13	-2
		内子	35	34	-1
		野村	26	28	2
	Z合計		147	148	1
	2	八幡浜	44	44	0
		三瓶	15	15	0
		伊方	36	39	3
		保内	25	25	0
		八幡浜みなと	48	48	0
	Z合計		168	171	3
	3	宇和島	32	31	-1
		伊予吉田	32	32	0
		宇和島中央	23	22	-1
南宇和		38	40	2	
鬼北		29	31	2	
Z合計		154	156	2	
R合計		489	475	6	

R	Z	クラブ名	期首	期末	増減	
4	1	高松	46	45	-1	
		小豆島	42	42	0	
		小豆島東	28	28	0	
		高松葵	29	29	0	
		高松南	31	31	0	
		Z合計		176	175	-1
	2	高松東	61	62	1	
		高松西	34	31	-3	
		直島	24	27	3	
		八葉	32	32	0	
		高松源平	37	37	0	
		高松中央	25	26	1	
	Z合計		213	215	2	
	3	東かがわ	41	41	0	
		長尾	58	60	2	
志度		60	64	4		
三木さぬき		33	29	-4		
高松グリーン		28	27	-1		
Z合計		220	221	1		
4	高松玉藻	54	56	2		
	高松栗林	63	62	-1		
	高松麗島	49	47	-2		
	高松美雲	60	60	0		
	高松空港	26	26	0		
	高松北	20	21	1		
Z合計		272	272	0		
R合計		881	883	2		
5	1	丸亀	90	91	1	
		坂出	43	42	-1	
		坂出白峰	59	61	2	
		綾歌郡	25	26	1	
		丸亀京極	52	51	-1	
	2	うたづ	45	47	2	
		坂出シニア	30	30	0	
		Z合計		344	348	4
		3	観音寺	43	42	-1
			善通寺	40	42	2
	多度津		37	38	1	
	三豊		58	59	1	
	こんびら		45	45	0	
	Z合計		255	257	2	
	R合計		599	605	6	
6	1	高知	48	48	0	
		高知柏	62	63	1	
		高知東	47	46	-1	
		高知北	33	33	0	
		高知桜	36	36	0	
		高知とさみずき	14	14	0	
	Z合計		240	240	0	
	2	須崎	43	44	1	
		土佐	48	46	0	
		伊野	29	29	0	
		佐川誠知	24	25	1	
		中土佐	24	25	1	
		Z合計		168	169	3
	3	四万十	45	45	0	
		土佐清水	50	50	0	
宿毛		24	24	0		
窪川		22	22	0		
大方		27	28	1		
大正		15	14	-1		
Z合計		183	183	0		
R合計		589	592	3		

R	Z	クラブ名	期首	期末	増減		
7	1	高知鷹城	45	44	-1		
		室戸	29	28	-1		
		高知鯉川	37	36	-1		
		高知南	33	35	2		
		高知よさこい	36	37	1		
		土佐国府	24	22	-2		
	Z合計		204	202	-2		
	2	高知黒潮	72	67	-5		
		高知桂	59	59	0		
		高知中央	39	40	1		
		高知安芸	30	31	1		
		高知りょうま	34	34	0		
		Z合計		234	231	-3	
	3	土佐山田	20	21	1		
		土佐本山	19	20	1		
南国		36	36	0			
土佐香南		33	33	0			
大豊		9	9	0			
Z合計		117	119	2			
R合計		555	552	-3			
8	1	徳島	23	27	4		
		小松島	30	30	0		
		阿南	44	50	6		
		徳島南	34	34	0		
		阿波勝浦	32	32	0		
		徳島マリンピア	48	48	0		
	2	徳島すだち	38	40	2		
		徳島シニア	22	21	-1		
		Z合計		271	282	11	
		3	徳島中央	40	41	1	
			石井	21	21	0	
			徳島東	28	28	0	
	徳島城山		44	44	0		
	上坂		40	40	0		
	徳島吉野川		39	39	0		
4	土成	29	31	2			
	徳島やまもも	29	26	-3			
	Z合計		270	270	0		
	R合計		541	552	11		
	9	1	徳島眉山	32	35	3	
			鴨門	57	57	0	
藍住			42	41	-1		
坂野			33	37	4		
松茂徳島空港			19	18	-1		
鴨門西			30	30	0		
2		北島	50	53	3		
		Z合計		263	271	8	
		3	阿波池田	42	43	1	
			綾	34	40	6	
			Z合計		20	21	1
			Z合計		96	104	8
4			徳島西	24	27	3	
			鴨島	32	33	1	
		阿波	36	37	1		
	徳島国府	22	22	0			
	神山	25	26	1			
	徳島菅	29	32	3			
Z合計		168	177	9			
R合計		527	552	25			
地区合計		5,716	5,798	82			





①白川 政信(87歳)  
②4R-3Z 志摩  
③1977年6月7日  
④2010年5月7日



①岡田 任永(59歳)  
②4R-4Z 高松南雲  
③1992年2月12日  
④2010年5月4日



①石松 一男(61歳)  
②3R-3Z 宇和島中央  
③2008年7月  
④2010年5月3日



①眞鍋 忠雄(92歳)  
②6R-2Z 阿波池田  
③1962年11月22日  
④2010年4月22日



①小松 雅(90歳)  
②6R-2Z 高松  
③1967年2月  
④2010年4月16日



①高田 賢五(90歳)  
②1R-3Z 伊予  
③1955年11月22日  
④2010年5月31日



①立本 利雄(96歳)  
②6R-1Z 瑞門  
③1980年3月  
④2010年5月20日



①小崎 雄(79歳)  
②7R-3Z 大葉  
③1982年3月7日  
④2010年5月19日



①尾崎 政吉(92歳)  
②7R-2Z 高知南雲  
③1966年3月  
④2010年5月14日



①大田 良雄(79歳)  
②6R-2Z 中土佐  
③2006年9月14日  
④2010年5月11日



①田辺 守(61歳)  
②6R-3Z 大方  
③2009年10月7日  
④2010年7月21日



①藤田 孝雄(73歳)  
②5R-2Z 三葉  
③1975年10月21日  
④2010年7月8日



①平野 清(98歳)  
②6R-3Z 土佐清水  
③1984年10月25日  
④2010年6月17日



①谷木 良一(81歳)  
②6R-3Z 後鳥  
③1986年4月27日  
④2010年6月11日



①阿部 哲朗(51歳)  
②6R-3Z 瑞川  
③2006年3月1日  
④2010年6月2日



①渡部 悦美(77歳)  
②1R-2Z 松山西  
③1972年1月1日  
④2010年8月16日



①平井 勇(61歳)  
②4R-2Z 八葉  
③2001年9月13日  
④2010年8月10日



①竹本 義幸(74歳)  
②6R-3Z 伊予三島流産  
③1967年10月19日  
④2010年8月6日



①瀧部 康(79歳)  
②6R-2Z 上板  
③1982年4月23日  
④2010年8月4日



①伊達 和(64歳)  
②4R-4Z 高松南雲  
③1966年3月  
④2010年7月30日



①後藤 章(79歳)  
②6R-2Z 今治東  
③1973年7月22日  
④2010年8月25日



①和田 信一(88歳)  
②6R-1Z 高知  
③1958年10月  
④2010年8月18日



①清水 正隆(68歳)  
②4R-1Z 高松南  
③1973年10月27日  
④2010年8月14日



①山本 常紹(89歳)  
②6R-1Z 鹿住  
③1972年11月21日  
④2010年8月23日



①住谷ヤスエ(87歳)  
②4R-2Z 高松東  
③1978年6月17日  
④2010年8月23日

## 物故会員

慎んでお悔やみ申し上げます

①氏名・享年  
②LC名  
③入会年月日  
④没年月日

## ◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆

1号発刊からまだまだと思いつつ、あっという間に2号の発刊日が迫りました。焦りながら自分の担当の原稿をぎりぎり間に合わせ、委員長には迷惑をかけながらようやく発刊にこぎつけました。

8月からのガバナリー公式訪問には3地区ほどガバナリーに同行させていただきました。各クラブの熱い思いに触れることができ、自分のクラブしか経験のない私にとって大変有意義なものとなりました。

7月の1号発刊以降、着々と事業が展開され、大きな成果をあげています。7月21日、24日までのYE生サマーキャンプ、8月21日、22日のライオンズクエストワークショップ、10月2日のLCIFセミナー。また、各クラブにおいても地域に密着した素晴らしい事業・ユニークな例会が展開されています。すべてを紹介しきれないのが残念ですが、次号においてもできる限り各クラブのアクトを紹介していきたいと思えます。皆様方からの熱い思いのこもった原稿をお待ちしています。

地区誌編集委員会(一)



ライオンズクラブ国際協会 336-A地区

# 第57回 地区年次大会

日時◆2011年4月9日[土]・10日[日]  
場所◆愛媛県四国中央市伊予三島運動公園体育館

登録締切日◆2011年2月19日[土]  
大会登録料◆8,000円(同伴者3,000円)



地区ガバナー  
宇高 昭造

[大会スローガン]

回国のまんなか 故のまち 篤き情で We Serve

## 2011年4月9日[土]

354-D地区 336-A地区  
地区年次大会前夜祭 18:30~20:00

(日韓親善国際交流の夕べ)

ホテルグランフォーレ

住所/愛媛県四国中央市三島朝日1-1-30  
電話/0896-23-3355

記念ゴルフ大会 8:00スタート

A) 滝の宮カントリークラブ

愛媛県新居浜市萩生字河ノ北129番地の1  
TEL.0897-32-7566

B) 新居浜カントリークラブ

愛媛県新居浜市船木1032番地の17  
TEL.0897-43-7164



## 2011年4月10日[日]

### 第57回地区年次大会

愛媛県四国中央市伊予三島運動公園体育館

住所/愛媛県四国中央市中之庄町1665-1  
電話/0896-28-6071

指名選挙会 登録/7:30~8:50 投票/8:00~9:00

代議員分科会 登録/8:30~9:10 分科会/9:10~10:10

代議員総会 登録/10:10~10:30 総会/10:30~12:00

大会式典 登録/11:00~13:00 式典/13:00~15:00

アトラクション 昼食/12:00~12:40

書道パフォーマンス/愛媛県立三島高等学校 書道部

今年公開された映画「書道ガールズ!! 一わたしたちの甲子園」の題材となった愛媛県立三島高等学校書道部員。青春真っ盛りの学生たちが音楽に合わせて目の前で作り上げる世界で1枚だけの作品をご覧ください。書の基礎はもちろん、衣装や日々の鍛錬した躍動感あふれるパフォーマンスでも私達を魅了してくれるで事しよう。

郷土物産展 10:00~16:00



書道パフォーマンス/愛媛県立三島高等学校 書道部

登録料や登録方法などの詳しいお問い合わせは...

ライオンズクラブ国際協会336-A地区第57回地区年次大会大会事務局

〒769-0111 愛媛県四国中央市金生町下分798-2 KS会館2F tel.0896-22-3277 fax.0896-22-3279 e-mail:nenjitaikai57@lionsclub336a.org



2010~2011年  
ライオンズクラブ国際協会  
336-A地区 四国中央キャビネット

〒799-0111 愛媛県四国中央市金生町下分798-2  
TEL (0896) 22-3277 FAX (0896) 22-3279  
E-mail: cabinet@lionsclub336a.org

**We Serve**